

特集

その電話、本物ですか？

みんなで防ごう！

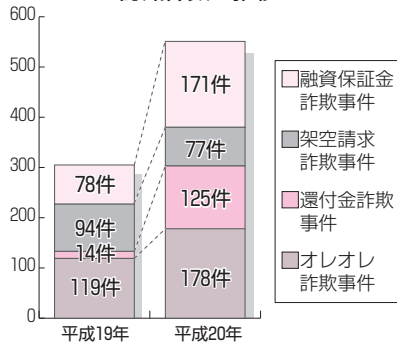
振り込め詐欺

最近、振り込め詐欺が多発し、その手口も巧妙になってきています。被害者の10人のうち9人は『自分はだまされない』と信じていたというデータもあります。今月号では、振り込め詐欺に遭わないために、振り込め詐欺の事例紹介と防止対策、そして振り込め詐欺に遭ったときの対処方法についてご紹介します。

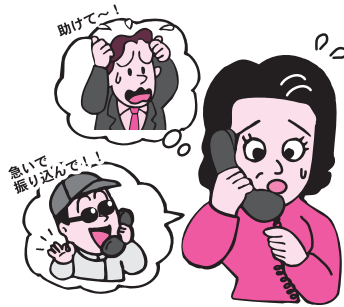
振り込め詐欺は、家族のきずなや人の弱みにつけ込み、巧妙な手口で現金をだまし取る犯罪です。

振り込め詐欺の手口には『オレオレ詐欺』『還付金詐欺』『架空請求詐欺』『融資保証金詐欺』の4つあり、被害件数は年々増加しています。被害を防ぐには、手口を知ることが一番です。ここでもう一度、振り込め詐欺について、家族みんなでおさらいしてみましょう。

北海道内での振り込め詐欺事件
認知件数の推移



オレオレ詐欺



泣き声に注意

息子を名乗って泣きながら、「交通事故で相手にけがをさせてしまった。示談金を払わなければならぬ」と電話してくる。

続いて、弁護士や警察官を名乗る男、事故の相手側などが次々に電話

口に登場。

被害者の女性は、息子が大人になつてから泣いた声を聞いたことがないため、信用して現金を振り込んでしまった。

携帯変わった に注意

息子を名乗って「携帯電話を落として変えたので、新しい番号を登録しておいて」と電話してくる。

その電話で、数日後に「仕事でミスをして金が必要になった」などと要求してくる。

被害者の女性は、登録した息子の電話番号だったため、信用して現金を振り込んでしまった。

個人情報に注意

息子の本名を名乗るなど、個人情報を詳しく把握した上で、電話をか

けてくる。

ちまたでは同窓会名簿などが売買され、名前、生年月日、出身学校、勤務先などの個人情報が流出している可能性があります。

こうした内容を告げられ、すっかり信じ込んで現金を振り込んでしまった。

本人確認をさせない 手口に注意

息子を名乗って「事故を起こしてけがをさせた。示談金が必要だ」と電話してくる。

「声がおかしいよ」と言うと、「風邪をひいているんだ」と答える。少し不審に思ったため、「生年月日を言ってみて」と尋ねると、「そんなこと言ってる場合じゃないでしょう！おれを信用できないの？」と逆ギレされ、困ってそのまま現金を振り込んでしまった。